

原子力学会誌「ATOMOΣ」連載講座の進捗状況

国枝 賢 (JAEA)、3/28/2018

原子力学会事務局から当部会に対して原子力学会誌「ATOMOΣ」連載講座の執筆掲載に関して打診があった。当部会運営委員会において検討を行った結果、下記の理由により引き受けることを決定した。

- － 核データ研究の意義を広く理解してもらうためのチャンスである。
- － 学生へ核データ研究の魅力を伝える絶好の機会である。

第1回 「多様化する原子核工学と核データのニーズ」 掲載済

須山賢也、深堀智生、国枝賢 (JAEA)、千葉豪 (北大)

第2回 「共鳴領域における核データ測定と理論解析」 掲載済

木村敦、原田秀郎、国枝賢 (JAEA)、片渕竜也 (東工大)

第3回 「核分裂データの最前線：実験と理論」 掲載済

西尾勝久 (JAEA)、千葉敏 (東工大)

第4回 「核図表 - 壮大なる原子核の地形図 -」 掲載済

小浦寛之、飯村秀紀、湊太志 (JAEA)

第5回 「IAEAの核データ事業」 掲載済

大塚直彦 (IAEA)、河野俊彦 (LANL)、大澤孝明 (元・近大)、国枝賢 (JAEA)

第6回 「核データの利用のために - ミクロからマクロへの橋渡し -」 掲載済

多田健一、今野力、横山賢治 (JAEA)、小迫和明 (清水建設)

第7回 「高エネルギー領域への挑戦」 提出済 (4月号掲載予定)

執行信寛 (九大)、岩元洋介、佐藤達彦 (JAEA)、岩瀬広 (KEK)

第8回 「核データライブラリ JENDL の進化」提出済（5月号掲載予定）

岩本修、柴田恵一、岩本信之（JAEA）、千葉豪（北大）

（執筆者敬称略、また下線は各回のリーダー）

執筆を担当して頂いた方々、原稿の監修を担当して頂いたシグマ特別専門委員会の方々、その他ご協力頂いた関係者の方々に深く感謝致します。

以上、